

平成 26 年度 津山市立林田小学校

改善プラン「平成 26 年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12 月）

	学校の取組・改善方法 （課題に対する改善方法）	進捗状況 （学期末時点）	3 学期及び来年度へ向けて （具体的な達成目標や数値目標等）
	○当該学年までに配当されている漢字を、ドリルや小テスト等を行い正しく習得する。 ○基礎的・基本的な計算技能の確実な定着を図るため、繰り返し練習の機会を計画的に設ける。 ○朝学習、放課後補充学習等により、基礎的な内容が定着するよう継続的に進めていく。	B	○家庭での繰り返し練習を行い、朝学習や授業始めに行う漢字や計算の小テストの正答率を 80%以上にし、定着を図る。 ○A問題に類似した小テストの正答率 80%以上。 ○学力定着状況たしかめテストの結果等をもとに検証し、それを踏まえた基礎学力を身につけるための具体的な取り組みを行う。 ○系統性・継続性を考えた朝学習、既習内容を反復し定着を図る放課後補充学習は、次年度も継続的に進めていく。
	○魅力ある授業づくり徹底事業を活用した授業改善、岡山型学習指導スタンダードを取り入れ、特別支援教育の観点に立った指導についての校内研究の充実を図る。	B	○魅力ある授業づくり徹底事業や特別支援教育の視点に立った校内研修は、次年度も継続して行っていく。スモールステップでの指導、学習集団作り、教材提示の工夫をしながら、表現力・説明力・活用力を育てる授業づくりを進める。 ○意図したためあてと振り返り・まとめのある授業を継続して行う。 ○国語科を中心に研究を進め、司会の役割や学年の指導の系統を踏まえて話し合い活動を行うことや、国語辞典を身近に置いて語句や漢字を調べることなどを継続していく。
	○家庭との連携を図りながら、チャレンジ週間等を設けるなどして、家庭での学習時間が増えるよう働きかける。	C	○家庭での学習時間は増加の傾向にあるので、家庭学習の手引きで示した学年での目標時間を上回る児童の割合が現在よりも増えるよう、内容や方法等について家庭に発信していく。 ○3 学期以降も P T A との連携を図り、学習時間や読書の時間についてのアンケートを行う。また、家庭学習についての P T A 研修会を開催し、家庭への働きかけを進めていく。

進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上 100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上 85%未満）」
「C：目標をある程度達成できた（50%以上 70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上 50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」